

「食料・農業・環境を考えるセミナー」開催要領

1. 趣 旨

近年、「令和の米騒動」とも呼ばれる米価の高騰や需給のひっ迫など、消費者が食料の安定供給に不安を感じる状況になっている。我が国の「食料安全保障の確保」が危ぶまれる中、日々の食卓を支える米について、改めて生産者・消費者がその価値と問題を考えることが必要である。

本セミナーでは、専門家や生産者を交え、米の流通や価格形成の仕組み、食料自給率の課題など、「米問題」の背景にある構造の解説を行う。参加者が、米の本当の価値を理解し、消費者として、より良い食の選択ができることを目指す。

2. 日 時 令和7年12月3日（水）
13時30分～16時30分
3. 場 所 TKP ガーデンシティ千葉 4階「コンチェルト」
4. 主 催 「食料・農業・環境を考える千葉県民フォーラム」
5. 後 援 千葉県・千葉市・千葉県市長会・千葉県町村会・JA全中
6. 規 模 300名（会場：100名、WEB：200名）
（一般消費者、農林漁業者、構成団体役職員等）
7. テ ー マ 米問題に考える日本の食料安全保障
8. 講 演
- < 解題 >
「米問題に考える日本の食料安全保障」
講演：東京大学大学院 農学生命科学研究科
特任教授 鈴木 宣弘司 氏
- < 報告① >
「米の安定供給に向けた事業者の取り組み」
講演：食料安全保障推進財団
専務理事 久保田 治己 氏
- < 報告② >
「稲作農家 生産現場の現状」
講演：千葉県山武市 生産者 古谷 正三郎 氏
（株式会社 大地の恵み 代表取締役社長）